

球磨工業高校 教務だより 8月号



「ルールを守る～何故ルールがあるのか、クラス内での決まり事～」

令和2年（2020年）8月31日発行

短かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。3年生の就職試験が例年より1ヵ月遅れたことに加え、新型コロナウイルスへの対応などを協議した結果、体育大会など多くの学校行事が中止となりました。楽しみにしていた生徒や地域の皆さまには申し訳ありませんでした。学校行事が削減されたため、授業時数を確保できるようになり、1学期の休校分はほぼ取り返せる見込みです。2学期は、学習面でしっかりと充実させましょう。

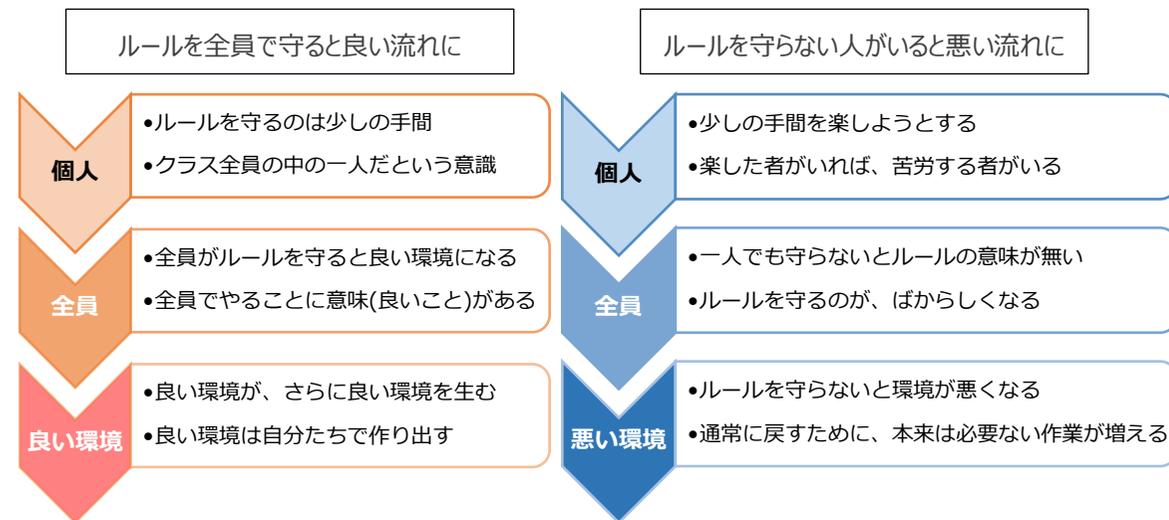
今月のテーマは「ルールを守る」です。何故ルールがあるのでしょうか。クラス内での決まり事は、何のために決めてあるのでしょうか。校訓の1つに【誠実】とありますが、誠実にルールを守る生活ができていますか？

例えば、クラスで出たペットボトルゴミは、どのように捨てるか決めてありますね。

「ラベルをはがして」、「飲み残しは捨て」、「中を水で洗って」、「フタと本体に分けて」捨てることになっています。このルールをクラス全員で守っているはずですが、ルールを守らない人がいるとどうなりますか？

- ラベルはがしやフタの取り外しを、誰かがやらなければならない。一人でいくつものペットボトルのラベルはがしやフタの取り外しをすると、何分か時間がかかる。ゴミを出す人がやるなら、おそらく数十秒ですむことです。
- 飲み残しがゴミ袋にたまって臭くなったり、虫が集まってきたりする。ゴミ袋が汚いと、ゴミ箱周辺も汚くなり、ゴミ箱近くの席は環境が悪くなるでしょう。きれいな状態は、クラス一人一人の意識や行動から作られます。

「ラベルをはがして」、「飲み残しは捨て」、「中を水で洗って」、「フタと本体に分けて」という作業は、1つの手間です。ちょっとした時間がかかります。この「ちょっとした時間」をクラス全員が実行することで、クラスがきれいな環境に保たれます。クラスがきれいな環境だと、勉強のやる気が起きやすいですね。また、本来する必要のないラベルはがしやフタの取り外し作業を仕方なくやっている人を、無駄な作業から解放することができます。



自分さえ良ければ良いという人はいますが、「あなたが楽をした分、誰かが通常の状態に戻すための、本来やる必要のない作業を仕方なくやっている」ことに気づかせてあげましょう。そして、良い環境をつくるために自分はルールを守り続け、ルールを守らない人が生んだ「通常に戻すための」作業を率先して実行できる人になってください。良い環境は自分たちで作り出すものであり、他人から与えられるものではありません。

さてここで、校内の教室以外のゴミ箱は球磨工生全員のものです。少し考えると、一人ひとりがやるべきことと、苦勞している人が見えてくるはずです。全員で良い環境を作りましょう！

ルールについて

建築科 野田 英志

私は陸上部長距離ブロックの顧問をしています。陸上競技は走れる距離やスピードを競う競技で、他の競技と比べて単純なスポーツですが、その分自身で突き詰めて練習を行う箇所が多く、とても魅力のあるスポーツだと思います。その中で注目が高くなってきている話題が「厚底シューズ論争」です。厚底シューズの使用により、次々と好記録が塗り替えられるようになってきました。これにより厚底シューズを利用する人が増え、ナイキ社の「ヴェイパーフライ」、「アルファフライ」を始め、最近では他のメーカーも厚底シューズの開発がされ、競技者の中で期待が大きくなっています。実際、球磨工業の陸上部員にも厚底シューズを使用している生徒は沢山おり、シューズの持つ性能を実感しているようです。

私はルールの範囲内で企業が努力して製作したシューズと選手の能力が上手くマッチすることで生まれた好記録だと考えていますので、厚底シューズの使用に賛成です。その一方で、厚底シューズを履いたランナーだけが次々と記録を塗り替えるのを、良く思わない選手もいるでしょう。さらに、陸上を観る人たちにも厚底シューズを良く思わない人は何人もいたでしょう。この状況で、世界陸連はトラック種目での厚底シューズの使用を禁止しました。なぜ禁止のルールができてしまったのか、その背景には競技者の公平性を保つため、そして観る人を含む、大多数の賛同を得る、世論が認めるものである必要があるからだと思います。このことから言え

るのは、ルールは「競技者の公平性を保つ」ということに加え、「陸上を観る人や世論が、陸上はシューズが結果に大きく関係しない競技であって欲しい」と考える人が多かった結果このルールが生まれたと思います。

今回、陸上のことをテーマにしてルールについて考えてみましたが、皆さんの周りには沢山のルールであふれていると思います。例えば学校生活における服装検査もそうですが、皆さんは学校が決められている規定の髪型や服装などに対して、不満を持ったことがあると思います。ではそのルールは誰のために、また誰の目線で作られたルールだと思いますか。ただ単に皆さんを縛り付けるためだけのルールでしょうか。厚底シューズの話と同様に、ルールを守っている生徒の皆さんだけでなく、生徒のことを見ている先生方そして保護者の皆さんや地域の方々の大多数の人々が「球磨工生は、このような髪型や服装であってほしい」という考えに関係してルールが作られています。自分も含め、全体で納得できるものではないといけません。

皆さんはルールに困られた生活に対して、不満を持っていませんか。しかし、安心して生活を送るため、過ごしやすい世の中にするためにはルールが必要不可欠であり、ルールに守られて生活できていると思います。もう一度ルールの在り方を考えて行動してみたいかでしょうか。

9月の行事予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31 (検)国 教育実習(~9/11) 復興作業ボランティア(~9/17)	1	2	3	4	5	6 公務員試験開始 QC 検定
7 (検)数	8	9	10	11 基礎製図検定	12 体験入学 (球磨中対象)	13 第三種電気主任 技術者試験
14 (検)英	15	16 特別教育(小型車画)	17 特別教育(小型車画)	18 専攻科前期 試験(~24)	19	20
21 敬老の日	22 秋分の日	23 (短,科集会)	24	25 ⑥人権教育 (1学年) 専攻科終業式	26	27
28 専攻科秋休み(~2)	29 応募書類作成	30 耳鼻科検診 (全学年)	1	2 ⑥人権教育(2学年) 人権教育講演会 (3学年)	3 専攻科前期選抜 13時まで校内立入禁止	4 第一種電気工事 士筆記試験 第二種電気工事 士下期筆記